

第20回記念(栃木県宇都宮市) 日本認知症グループホーム全国大会

2018.3.18 大会実行委員会ニュースNO.1 TEL 03-5366-2157

「今こそ、認知症グループホームの
素晴らしさを地域に向かって発信して！」
全国の皆様のご参加を心からお待ちしています

大会実行委員長(栃木県支部長) 前沢孝通

ご挨拶

この度、節目である第20回日本認知症グループホーム大会を栃木県・宇都宮市において開催する運びとなりました。

節目といえますと、平成30年は、医療・介護・障害福祉の3報酬の同時改定に加えて、医療計画・介護保険事業計画・障害福祉計画の3計画の見直しの全てが重なる、国にとっても非常に大きな節目の年であり、2025年(平成37年)の「完成」を目指している「地域包括ケアシステムの構築」への取り組みがいよいよ本格始動する年でもあります。

私は精神科医ですが『認知症高齢者の生活の全てに寄り添い』『認知症の進行を遅らせ』『認知症高齢者のBPSDの改善につなげ』『認知症高齢者のQOLの維持・向上につなげる』認知症グループ

ホームケアは本当に素晴らしく、地域にとって欠かすことのできない貴重な社会資源であると思っています。

今回の大会では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、

○どうやって認知症グループホームケアの素晴らしさを

もっと地域に向かって発信して行くか！

○どうやって認知症グループホームケアの素晴らしさをもっと地域に知ってもらうか！

を改めて皆さんと考えるひとつのきっかけとなる大会にできればと考えています。

介護従事者の処遇改善や深刻な介護人材不足など、介護現場の問題・課題は山積していますが、そうした中で、日々認知症グループホームケアで汗を流し、日々認知症グループホームケアについて創意工夫を重ねている多くの仲間がいます。

厳しい環境の中で頑張っている多くの仲間、『これからも認知症グループホームで頑張ろう』と前向きに思っただけの大会となるよう、関東甲信越ブロック各支部の皆様のご協力もいただきながら、鋭意、大会準備を進めております。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

関東甲信越ブロックの総力を結集して！

全支部代表の参加で実行委員会体制を決定！
第20回記念大会の詳細の検討を開始

去る1月12日、第20回記念大会の実行委員会が、会場となる「栃木県総合文化センター」で開かれ、関東甲信越ブロック9支部の代表が参加して開かれ、活発な議論が行われました。

前回の京都大会の引継ぎ内容を踏まえ、大会の組織体制を検討、全支部長が実行委員として各部署を担当する事となりました。東武トップツアーズ社が大会を担当します。